遠隔授業準備に関する ガイドライン

1. 遠隔授業に関する注意点
2. 使用する機器、仕組み、ソフトの例
3. 授業構成のヒント

2022年3月22日版

学生支援センター

北海道科学大学

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

＜2022年度の授業実施における基本方針について＞

学生、保護者の皆様へ

2020年に発生したコロナ禍は約2年を経過した今も完全収束には至っておらず、社会全体が「withコロナ」の新しい仕組みで動いています。
大学においても、遠隔授業・各種手続きのオンライン化などデジタル技術を活用した教育・研究活動が定着しつつあります。

このような中、本学では、2022年度の授業実施方針について、社会情勢を注視しながら検討を重ね、対面授業を行うこととしました。
しかしながら2021年度後期と同様に、教室内の収容人数を約半数程度まで減らすため、全ての授業で対面授業を実施することは困難です。

一部の授業は遠隔授業を併用して進めていくことになりますが、科目ごとの具体的な授業形態については、
3月の授業時間割公開時に、学生の皆さんに直接お伝えいたします。

オミクロン株への感染が驚異的なスピードで広がっています。
重症化しづらいという報道はなされていますが、感染したり、濃厚接触者になったりすると自身はもちろん、
家族・友人といった周囲の方の生活にも大きな影響を及ぼすことになります。
これから定期試験や国家試験などの重要な行事を迎える方が多いと思いますので、決して油断せず、各自での感染防止対策をしっかりと行ってください。
学生支援センター・保健管理センターからも緊急連絡が発出されていますので、必ずお読みください。

本学は「withコロナ」の時代にもより良い教育を行うべく、これからも情熱を持って教育・研究活動に取り組んでまいります。

2022年1月21日
北海道科学大学
学長　渡辺　泰裕

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

遠隔授業について

- ICT の発展による知識を伝える機能の多様化
- キャンパス間・大学間連携や、社会人・高齢者の学び直しの機会
- 「いかに教えたか」から「いかに学んだか」への転換

などの視点から以前より重要性が指摘されてきましたが、実際にはなかなか浸透してきませんでした。新型コロナウイルス感染症対策として一気に導入され、次のような長所と課題が指摘されています。

長所
- 教材等リソースを受講者が反復利用可能
- 画像・情報等を参加者全員で等しく共有可能
- チャット・掲示板等の使用で対面より質問がしやすい
- クイズ・アンケート等により受講者全体の反応を教員が把握可能、など

課題
- 受講者の反応を画面から把握しづらい（できない）
- 個別指導や低学力者へのフォローが難しい
- 受講者間の連携（学修に関する協力関係）が作りにくい
- 学修意欲を維持させ受講を継続させることが難しい場合あり、など

このほか、厳格な成績評価の課題や、大学生活（活動制限に対する不満・不安）の影響なども指摘されています。

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

本学における遠隔授業の実施

2022.1.11　学長通知「2022年度の授業実施における基本方針について」に従い、実施をお願いします。

【2022年度の授業実施方針】
（1.2. は省略）
3. 遠隔授業を実施する場合は、文部科学省の方針に定められているように「同時性又は即応性を持つ双方向性」を有していることが条件となるため、いわゆる「ライブ授業」を基本とする。「オンデマンド授業」を実施する場合は、授業の終了後すみやかに「設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導」を行い、「学生の意見の交換の機会」を確保するよう留意すること。
　以上の方針により、本学で実施する遠隔授業は大学設置基準第25条第1項で規定する「面接授業」として取り扱うものとする。

© Hokkaido University of Science　All Rights Reserved.

多様なメディアを高度に使う授業に求められる要素

全ての授業をオンラインで行う科目に単位を認めるには、原則AかBのいずれかを満たす必要があります

A）同時かつ双方向に行われるものであって、かつ、授業を行う教室等以外の教室、研究室又はこれらに準ずる場所（略）において履修させるもの

⇒「ライブ配信で双方向」（ライブ授業）

B）毎回の授業の実施に当たって、指導補助者が教室等以外の場所において学生等に対面することにより、又は当該授業を行う教員若しくは指導補助者が当該授業の終了後すみやかにインターネットその他の適切な方法を利用することにより、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を併せ行うものであって、かつ、当該授業に関する学生等の意見の交換の機会が確保されているもの

⇒「ライブでないがオンライン教材で受講でき、学生からの質問や課題のフィーバックに教員が対応でき、掲示板等で学生間の意見交換が可能」（オンデマンド授業）

※AとBの組合せでもOKです
※対面授業の代替として数回分の実施でもできるだけ満たせるようお願いいたします

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

単位制の趣旨について

遠隔授業においても「45時間の学修をもって1単位」とする原則は適用されます。

新型コロナウイルス対策に関する文科省からの通達においても、授業期間（回数）は大学の判断で柔軟な取り扱いが可能であるが、単位制の趣旨は保つように求められています。
https://www.mext.go.jp/content/20200324-mxt_kouhou01-000004520_4.pdf

対面授業実施の際に

- 科目の位置づけ
- 科目の達成目標
- 達成目標に到達するための授業外学修を含めた授業と学修計画
- 1単位45時間の学修の原則
- 達成目標で定められた資質・能力の測定評価にふさわしい評価手段

といった要素を強く意識した授業計画と準備をしておくことで、代替措置として遠隔授業の内容を検討する際に対応がしやすくなると思います。

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

資料の著作権について

オンラインを活用する授業では対面授業とは異なる著作権処理が必要です。

形態	配信方式	実施について	著作権処理について
ライブ授業	教室での対面授業をライブ中継	一部授業で実施予定の方式	第35条により著作権者等の許諾なく複製・配信可能
	教室以外の場所から学生と対面せずライブ配信	実施予定の方式	・権利者の許諾をとるか ・適切に引用するか ・保護期間満了物を利用
オンデマンド授業		実施予定の方式	・権利者の許諾をとるか ・適切に引用するか ・保護期間満了物を利用

「適切に引用（著作権法第32条）する」とは次のことをさします。

(i) すでに公表されている著作物であること
(ii) 引用をする必要性があること
(iii) 「　」や“　”などを用いて、引用されている部分と、本文等が明瞭に区別されていること
(iv) 本文と引用部分の主従関係が明確であること
(v) 引用される分量が必要最小限度の範囲内であること
(vi) 出典が明示されていること
(vii) 改変しないこと

必要最低限で適切に引用する場合には、権利者の許諾なく使用できます。

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

資料の著作権について

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS https://sartras.or.jp/

2020年4月28日に著作権法35条改正：「対面以外のライブ授業とオンデマンド授業でも、補償金を支払えば許諾なく著作物がインターネット経由で教材として配信可能」が施行になり「2020年度に限り補償金はなし」となりました。
https://sartras.or.jp/archives/20200406/

⇒2022年度について本学は団体への補償金を支払い登録済。

⇒「教材」としての利用を前提に遠隔授業でも対面と同じ著作権処理でOK。

2021年4月からの教育現場での著作物利用のガイドラインについては、教育関係者、有識者、権利者で構成する「著作物の教育利用に関する関係者フォーラム」がとりまとめた指針をご参照ください。
「改正著作権法第35条運用指針（令和3（2021）年度版）」
https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/unyoshishin_20201221.pdf

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

大学等の対応状況、事例、遠隔授業ガイドについて

- 国立情報研究所
「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」
⇒『大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム
「教育機関DXシンポ」』

https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/

- オンライン教育ガイド（大阪大学）

https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/onlinelecture/top.html

- Teaching Online@京大

https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/

- utelecon: オンライン授業・Web会議ポータルサイト @ 東京大学

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.